



庄原自治振興区だより

第171号 令和3年1月20日発行

〒727-0013
庄原市西本町二丁目17番15号

TEL/FAX
(0824)72-3777



新年のご挨拶

新年明けましておめでとうございます。

区民の皆さまにおかれましては、健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年、年明け早々から、新型コロナウイルス感染症が発生し3月にはWHO(世界保健機関)からパンデミック宣言が発せられるなど、瞬く間に世界に流行が広がり、さらに猛威を増しています。感染拡大防止のため集会・外出の自粛等「三密」を避ける政策方針に伴い、振興区で企画していた諸行事、G・ゴルフ大会、区民お・キグ、活動報告・作品展、のろし祭り等も中止せざるを得なくなりました。その中であって、7月にはコロナ感染防止策に対応した避難所開設、柳原・川手自治会等で取り組まれた防災マップ作りへの支援、福祉関連団体合同研修会は実施することが出来ました。本年はいよいよ振興センター多目的ホール新築・既存施設の改修工事が着工されます。完成までの2年間は会館利用が出来ず、皆様には不自由をお掛けすることとなりますが、完成後のご利用を夢に描いて、ご協力のほどよろしくお願いいたします。



コロナ禍の一日も早い終息を願い、新たなこの一年が区民の皆さまにとって最良の年でありま
すよう祈念して新年のご挨拶といたします。

庄原自治振興区 区長 増田 敏明



GO がん検診へ 早期発見が特に重要



本町支部女性会
川手地区公衆衛生推進会
東三区公衆衛生推進会
本町公衆衛生推進会

ショッピングセンタージョイフルに於いて、10月24(土)本町支部女性会と市保健医療課が連携して“ピンクリボン活動(乳がん検診啓蒙活動)”を行いました。

受診を希望される方は受付後、ジョイフル横に駐車した検診車で受診されました。

また、11月7日(土)川手地区・東三区・本町各公衆衛生推進会は、市環境政策課及び市保健医療課と連携し“がん検診へ行くのだ”キャンペーンを行いました。

「がん」は2人に1人がなる身近な病気です。自覚症状がない今こそ、がん検診を受けるときです。早期発見が特に重要です。なお、庄原地域のがん検診担当窓口は、庄原市保健医療課健康推進係、電話0824-73-1225です。



令和2年度 全国統一防火標語

「その火事を防ぐあなたに 金メダル」



12月役員会報告

(12月22日) 協議事項等は以下の通りです。

- (1) 令和2年度自主防災活動助成金申請について(本区助成制度)
 - ・提出期限・・・活動実績報告書に写真などを添付し、令和3年1月29日(金)までに提出
- (2) 令和2年度庄原地区地域福祉活動の実績報告書の提出について
 - ・内容・・・青少年健全育成に関わる自治会活動実績提出、期限：令和3年2月5日(金)
- (3) 自治会活動報告・・・・・・・・・・・・・・・・川手沖：元泉自治会長、次回は1月、川手中自治会



～ いにしへの郷「庄原」からのつたえごと ～ No.9



シリーズふるさと歴史文化散策 中世 3 前編

《表舞台に出てきた庄原》 かつては、戸郷川を境にして「永江荘」と「地毘荘(じびのしょう)」という荘園があり、地毘荘は蓮華王院(れんげおういん、京都三十三間堂)の荘園で、後白河法皇の発願(ほつがん)により、平清盛が造営していることから、この地方の開発者が、平家全盛時代の平氏に寄進したものと推測されますが、平家滅亡により没官領(もっかんりょう)となりました。

12世紀末の源平抗争は、結果として鎌倉幕府を生みだし、鎌倉幕府は将軍(源頼朝)と御家人(頼朝に集結した地方武士)とが、土地を仲立ちとして取り結んだ主従関係を中核としますが、今でいうところの契約関係ではありません。源氏の有力な御家人山内首藤氏は、平氏打倒・源義経追討に活躍した恩賞として、頼朝から地毘荘の地頭を与えられます。

鎌倉時代の末期、山内通資(みちすけ)の代になり、正和5(1316)年相模国(さがみのくに、神奈川県)鎌倉郡から、備後国地毘荘に移住し、当初北部・蔀山城(しとみやまじょう、高野町)に本拠を構えます。数年後、南部の本郷町に移って甲山城(こうやまじょう)を拠点に、近郷に勢力を拡大していきます。この地は、墳墓の地・相模山ノ内にちなみ「やまのうち」と呼びました。

そして、天文22(1553)年毛利氏の支配下に入り、慶長5(1600)年毛利氏に従って山口県に移るまで、284年にわたり備北地方に勢力を張りました。

永江荘は、『芸藩通志』によると荘域が、広島藩の備後国三上郡川手・庄原・宮内・新庄の四村となっており、領家(支配者)については、江戸時代末期庄原の住民(有力商人)によって書かれた『庄原雑録』に、応永8(1401)年の沖家文書に、「建仁寺領(けんんにんじ、京都東山区)備後国永江荘」の記述がありますが、原文書は存在していません。

ただ、昭和17年刊行『国史辞典』建仁寺領の項目(P687)に、焼失した建仁寺領諸国庄園目録の中に、「備後永江荘地頭職」の記載があり、当時は建仁寺の荘園であった事がうかがわれます。

元弘3(1333)年鎌倉幕府は滅び、南朝(吉野の天皇)と北朝(京都の天皇)が対立する、南北朝時代を迎えたこの対立は60年続きました。

山内首藤氏は、北朝年号文和5(1356)年、地毘荘に接する川手町に平等寺を建てたことは、建仁寺領である永江荘への侵略を密かに押し進めていることが伺えます。

押領(武力で所領や年貢などを奪う)ではなく、宗教を用いて勢力を伸ばすやり方は、地元民の自然崇敬・素朴な祖霊信仰心に付け入るやり方ですぐには効きません。しかし、次第に山内首藤家への警戒心が緩められていきます。このようなやり方で、大永5(1525)年には、宝蔵寺を永江荘の要地である柳原町の瀧尾山に移しました。



手水鉢 延宝2年(1674)



入口 山門



御朱印



庄原最古の宝篋印塔

川手町 平等寺

宮の下 宝蔵寺

予告編！ 次回は「表舞台に出てきた庄原」後編について紹介します。お楽しみに・・・。

《 文・構成 庄原自治振興区歴史文化継承委員会 》

庄原自治振興区 歴史文化継承事業

「庄原の歴史文化を学び、未来に繋ぐ研修会」を始めました。！！

庄原自治振興区は、平成31年3月に庄原地域の歴史文化を後世に繋げるために「歴史マップ」「資料集」「歴史散策モデルコース」「歴史文化展示パネル」を多くの皆様のご支援ご協力いただき作成しました。

この資料集等をもとに、貴重な歴史的資産を後世につなげるための「語り部」を育成することを目的に、本研修会を令和2年10月から開始するために研修会員を募集し、15名の方に登録していただき、毎月1回の定期的な研修会としてスタートしました。

これまで3回の研修会を行いましたので概要を報告いたします。

【第1回】 令和2年10月16日(金)13時30分から11名の参加により、庄原市田園文化センター2階歴史民俗資料館において、テーマを「展示されている資料から庄原地方の歴史文化を探る」として、歴史文化継承委員の奥田虎昭氏から、古代の遺跡群を中心にその後の時代の流れに沿って展示されている資産について説明いただき、庄原地方の歴史の流れを研修しました。その後、今後の研修会について参加者から意見をいただきました。



田園文化センター 研修会



展示物説明



展示物説明

【第2回】 令和2年11月20日(金)13時から13名が参加、奥田虎昭氏による説明と、現地研修として上野公園「瓢山」において、庄原盆地周辺の遺跡群のできた経緯、古代の西城川の河道(かどう)の変化を研修、つづいて宮内地区に移動し、宮内八幡神社付近に存在したとされる「伝神福寺」創建の時代背景、同地区内の「四角突出型墳丘墓」を見学しました。



上野池ひさご山前方後円墳



宮内八幡神社境内



四隅突出型墳丘墓全景

【第3回】 令和2年12月15日(火)13時から9名が参加し、現地研修として東城町帝釈の「帝釈まほろばの里 時悠館」において、展示されている古代の人類の生活の生きざま、全国的に貴重とされている発掘から60年を経過する帝釈峡遺跡群、庄原地方に関わる先史遺跡の発掘調査について、学芸員の稲村秀介氏から詳しく説明をいただき、今も私たちが生活している地域の地中の地層に多くの人類の生活が眠っていることを学びました。



「時空旅行のトンネル」



「庄原地方の先史遺跡」説明



帝釈峡遺跡発掘60年のあゆみ

サンタさんとお話できてよかったヨ!

— 永末保育所 —

12月24日(木)クリスマス会をしました。サンタさんにお手紙をかき、サンタさんに会えるのを楽しみにしていましたが、新型コロナウイルス感染症の影響で来てもらう事ができませんでした。でも、サンタさんと電話をしてサンタさんの声が聞こえると、子どもたちは大喜び!!

月組さんが「サンタさんは いつもなにしているの?」「どんなおうちに すんでいるの?」「雪が ふっていますか?」など質問すると、サンタさんはとても丁寧に答えてくださいました。プレゼントは、トナカイさんの宅急便が届けてくれました。みんなでクリスマスの歌を歌ったり、踊ったり、ゲームをして楽しく過ごしました。来年こそはサンタさんに会えることを願っている子どもたちです。



今年はクラスごとのクリスマス会でした!

— 庄原保育所 —

12月25日(金)10時からクリスマス会をしました。教室ごとに工夫して楽しく過ごし、プレゼントをもらって、よいこたちはご機嫌でした。



先生といっしょに!



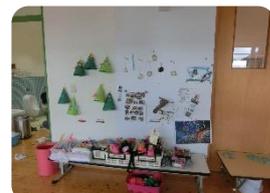
手でずずをふってえんそう



かわいいサンタさん



クリスマスの作品



元気いっぱいのクリスマス会でした!

— 庄原幼稚園 —

12月18日(金)10時45分、2階のなかよし広場に園児41名が集まってクリスマス会を行いました。はじめに“雪”などを合唱し、「園長先生の手紙がサンタさんに届いているかな～」と心配だったので、みんなで「**サンタさ～ん**」と大きな声で呼びかけました。

するとステージの幕が上がり、肩に大きな袋を担いだサンタさんが、手を振りながら立っていました。早速、もも組さんから順番にプレゼントをもらうなど、楽しい時間でしたが、サンタさんは次のお友達にプレゼントを配るため“シャン シャン シャン”と鈴を鳴らしながら、あわてて帰って行きました。



2月の振興区主催行事予定



9日(火)	理事・総務企画合同会議	13:30～
13日(土)	子供将棋教室	9:30～
16日(火)	環境防犯パトロール	9:00～
	(東下・大歳上、大歳下、宮の下の各自治会長)	
24日(水)	役員会	13:30～
27日(土)	子供将棋教室	9:30～

・毎週1回 青少協防犯声掛けパトロール 16:30～

編集後記

新年明けましておめでとうございます。・・・とは言え、「めでたい、めでたい」と言ってばかりではおられません。私の家庭でも、例年のような“家族そろってのだんらんの時”は持てませんでした。

コロナ禍の中での年越し、誰もが耐え忍んで新年を迎えられたのではないのでしょうか。新型コロナウイルスは変異種に変化し、感染力も強くなっているようです。年少者への感染や高齢者への感染拡大も報告されています。日を追うごとに感染拡大の速報が流れ、重症者も急増しています。県北部での感染報告もあります。“今一度、自らの行動”を振り返り、「感染しない、感染させない」意識を強く持ち、コロナ終息へ向けた行動を再確認しなければなりません。

T記